

リーブラ便り

2011年12月号 VOL. 31



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

- 1. 災害と女性・人権 リーブラシンポジウム
- 2. 講座案内
- 3. 男女共同参画週間記念フォーラム2012
- 4. 講座報告
- 5. 運営協議会
- 6. リーブラ相談室
- 7. 男女平等参画情報
- ★別紙 12月の新着図書ご紹介

1. 災害と女性・人権 リーブラシンポジウム「福島の女性たちの現状と課題」

12月3日（土）災害と女性・人権リーブラシンポジウムが開催されました。当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、被災地の女性支援に関心の高い方々が数多く参加されました。数日前にシンポジウムについての記事が新聞に取り上げられたこともあり、リーブラの事業に初めて参加された方が55%にのびりました。東日本大震災後、メディアでは報道されにくい被災地の女性支援の現状とその必要性を、男女平等参画拠点施設であるリーブラにおいて、参加者の方々とともに共有する有意義な場となりました。

3部制のプログラム・第1部は、全国女性相談研究会より、3月の大震災直後から9カ月間、福島県から避難した女性と子どもへの支援を継続的に行い、独自の方法により被災地の女性のニーズを聴きとり、物資の提供や避難所の環境改善へ提言を行ってきた、その具体的な取り組みと、福島の女性100人の聴きとり調査結果が報告されました。

第2部では、和光大学教授・竹信三恵子さんより、「被災下での女性支援はなぜ必要か」をテーマに、被災地の支援において、男女平等参画の視点の必要性が、さまざまな事例をもとに話されました。第3部では、「被災地の女性支援・今後の課題」をテーマにパネルディスカッションが行われました。竹信さんと全国女性相談研究会の代表、会のメンバーで助産師、弁護士の二人とそれぞれの立場から、災害という非日常だけの問題ではなく、じつは我々の日常生活の中にもある男女平等と人権の課題を浮き彫りにする討議が展開されました。



被災地の女性支援に関心高い方が数多く参加されました。



パネルディスカッションでは被災地の女性支援・今後の課題について討議



災害と女性関連図書も設置

アンケートによれば、参加者の97%が内容に満足と答えており、感想にも「私たちの社会構造を改めて考え直す深い内容を含んでいたと思う」など、東日本大震災後の日本における男女平等の課題を参加者とともに語り合い、一人ひとりに何ができるのか考える機会となりました。



災害・女性・人権の特別展示

2. 講座案内 (リーブラ主催講座・学習活動支援事業)

リーブラ主催講座 「ふらっとリーブラ」1月 ～絵本と手遊びの巻～



- 日時：1月27日(金)
- 時間：13:30～15:30
(時間内出入り自由です)
- 会場：4階 学習室C
- 内容：会場にブルーシートを敷き、リーブラ所蔵の絵本の紹介と、お子さんと一緒にできる手遊びを紹介します。
- 参加費：無料
- 対象：小学生以下のお子さん
がいる方(お子さん連れで参加
できます)や、地域活動などで
子どもと接する機会のある方
- 申込：電話・FAX・メール・窓口
- 保育：あり・無料 ※要予約
(1歳から未就学児まで)
保育申込締切：1月13日(金)
まで

リーブラ主催講座 「著者が語る話題の本」講座 池川玲子さんが語る 『「帝国」の映画監督坂根田鶴子ー 「開拓の花嫁」・一九四三年・満映一』

- 日時：2月3日(金)
19:00～21:00
- 会場：4階 集会室3
- 講師：池川玲子さん(実践女子大学・
大妻女子大学非常勤講師)
- 内容：日本初の女性映画監督である坂
根田鶴子の生涯と、彼女が満州で制作し
た『開拓の花嫁』の内容と当時の時代状
況について映像を交えながら、お話し
いただきます。本書は、優れた女性史の業
績に対して贈られる「女性史青山なを
賞」(2011年度)を受賞しました。
- 参加費：無料
- 対象：どなたでも
- 申込：電話・FAX・メール・窓口
- 保育：あり・無料 ※要予約
(1歳から未就学児まで)
保育申込締切：1月20日(金)
- 手話・文字通訳：1月13日(金)ま
でにご相談ください。

学習活動支援事業 まちづくり円卓会議 【女性と政治 ～政策決定の場にもっと女性を～】

- 主催：みなと21：女の議会
- 協力：NPO法人GEM
- 日時：2月4日(土)
13:30～16:30
- 会場：4階 学習室C
- 講師：円より子さん(元参議院議員)
- 内容：政治や社会で女性の参画率が低
い中、女性たちを増やすために、私たち
に何ができるか。今年で15回目を迎える
円卓会議で女性の政治参画の意義など
について話し合います。
- 参加費：800円
- 定員：30名(要申込・先着順)
- 保育：あり(1歳から未就学児まで)
要申込(締切1月28日(土))
- 手話通訳：要申込
(締切1月25日(水))
- 申込み・問合せ先 NPO法人男女平
等参画推進みなと(GEM)
電話：080-3512-3710
FAX：03-3472-5787
e-mail：gem-minato@kif.biglobe.ne.jp

3. 男女共同参画週間記念フォーラム2012

2012年度の「男女共同参画週間記念フォーラム」は、6月22日(金)、6月23日(土)に決定!

港区における男女平等参画推進の拠点として、リーブラでは毎年フォーラムを開催しています。今年は10月より企画運営委員会を立ち上げ、主講演やサブテーマについて検討を重ねてきました。主講演の講師は「堤末果氏」が決定しています。これから企画募集など、実施にむけて具体的な動きへと進んでいきます。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。2012年度の実行委員長より、一言いただきました。ご紹介いたします。

国が平成11年6月23日に制定した「男女共同参画社会基本法」を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」として、全国で様々な取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深める活動がおこなわれています。私たちの港区リーブラでは、リーブラフォーラムと言う形でこの時期の活動に呼応しています。フォーラムと言うと堅苦しいというイメージがあります。事実、私たちの直面している様々な問題について理解を深める、解決策を模索するという一種の勉強会ですから、内容的にはそうならざるを得ないと思います。

例えば、今年の6月のフォーラムでは、「お墓の問題」、「パートタイムで働く問題」「三世代の子育て」など具体的なテーマが取り上げられたブース企画がつけられました。しかし、それぞれが、単なる勉強会ではなく、全体として楽しく学べるというフォーラムになるように心掛けました。

特に、実行委員会形式による自主的な運営と、利用者の相互交流に力をいれ、区民による手作りのフォーラムにすることで、だれもが気軽に参加して、リーブラ理念の理解が深められるというものにしてきました。前回の主たる準備が3月11日の東日本大震災直後であったことから、手探り状態でしたが、危機管理という点にも取り組み、多くの参加者から斬新な意見を頂き、区の関係部署への提言として活用しました。

来年6月は、さらに一層、リーブラ一般団体・推進団体の交流と通して、相互理解を深めるフォーラムにしてゆきたいと考えております。

サブテーマは『ゆるやかに、ゆっくり、たしかに』としました。

急がなくてもいいです。あせらなくてもいいです。今こそ私たちの理念に向かってより確かな一歩を踏み出そう、そういう企画を皆さんで作りたいと思います。



男女共同参画週間記念フォーラム2012実行委員長 斎藤 一正

企画運営委員の皆さん

4. 講座報告（リーブラ主催講座）

特別展示「第2回女性に対する暴力をなくすため私たちにできること ～災害・女性・人権 リーブラから伝えるメッセージ～」

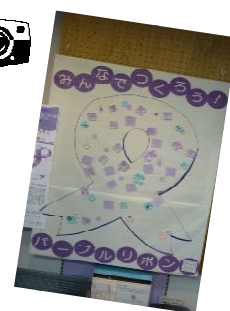
■実施日：11月12日（土）
～11月25日（金）
＜展示期間内実施＞
●ふらっとリーブラ11月
実施日：11月18日（金）
13時～15時
●みんなでつくろうパープル
リボン：10月21日（金）
～11月25日（金）
「女性に対する暴力をなくす
運動」期間の11月12日～11月
25日に合わせ、女性に対する暴
力根絶のための特別展示を開催
し、リーブラにいらっしゃる幅
広い方々に女性に対する暴力防
止啓発事業を行いました。リー
ブラ登録推進団体3団体、一般
団体2団体の参加があり、リー
ブラ登録一般団体・男女平等推
進団体、関連団体と共に女性に
対する暴力根絶のメッセージを
込めた展示作品や女性に対する
暴力根絶の団体活動紹介をする

ことができました。
また女性に対する暴力根絶の
メッセージをリーブラと団体が共
に発信することにより、団体との
協働の取り組みの一環となりました。
「みんなでつくろうパープルリ
ボン」は、交流コーナーにボード
を設置し、紫の折り紙を折ったり、
メッセージを書いて貼り、みんな
で一つのパープルリボンを作るこ
とを呼びかけました。

折り紙・メッセージは計45件
集まり、「つらくなったら声をか
けてね。一人じゃないよ」「弱さ
を認めて安心してゆったり生きら
れる社会が欲しいです」「平和と
平等をつくる人になりたい」など、
あたたかく力強いメッセージが寄
せられました。誰でも気軽に参加
できるオープンな参加型の企画に
はこれからも引き続き取り組みた
いと思います。



特別展示アルバム



セクシュアル・マイノリティ講座

「学校と災害の中のセクシュアル・マイノリティ」



■実施日：11月12日（土）

■参加人数：12名

講座のはじめに、参加者一人ひとりが安心して話し
合いをするためのグラウンド・ルールの説明がありま
した。個人それぞれの気持ちとプライバシーを大事に
しつつ、テーマに沿って参加者全員が話せるようにす
るためのルールです。

次に、講師のお二人が所属する“共生社会をつく
る”セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワ
ーク制作のDVD「セクシュアル・マイノリティ理解の
ために～子どもたちの学校生活とところを守る～」の
一部を鑑賞し、3つのグループに分かれて感想や意見
を話し合いました。その後、「カミングアウト体験」
のグループワークを行い、全体で共有しました。最後
に災害の中でセクシュアル・マイノリティが直面する
問題について、その対応について説明がありました。

意見交換を行う時間を多く取った講座であり、ある
程度の知識や体験を持つ参加者にとっても、さらに理
解を深め、新たな視点を獲得できる満足度の高い講座
となりました。一方、内容が濃いためにしんどかった
という意見もあり、運営や広報に工夫が必要だと感じ
ました。

女性と起業

「女性社長に聞く！生き方、会社の作り方～ 300人の女性社長たちの経験から学ぶこと～」

■実施日：12月6日（火）

■参加人数：39名

女性経営者支援の事業を展開し、2009年より表参道
ヒルズで、毎年、女性社長が300人参加するイベント
J300を主催する株式会社コラボボ代表取締役の横
田響子さんを講師に迎え、ご自身の起業経験や、現在進
行中の新しい事業、その他日本の女性起業家の実例を紹
介していただきながら、会社の作り方とまとめ方につ
いてお話ししていただきました。

参加者は、リーブラの講座参加がはじめての方が
69%で、82%の方が満足と回答。「起業家になるハー
ドルが下がり、有意義な時間だった」「今後の自分の目
標を達成する上で、大変参考になりました。自分のエネ
ルギーにもなりました」などの感想が寄せられました。
横田さんは今年9月APEC女性と経済サミットでイノ
ベーターとして表彰され、その企画力と実行力は参加者
にとって大きな刺激になったようです。

講座申込みは定員を超え、講座終了後も、多くの方が
講師を取り囲んで質問や名刺交換が続くなど、起業に対
する関心の高さがうかがわれました。



5. 運営協議会

運営協議会委員より

～1年を振り返って～

街に美しいイルミネーションが煌めく季節となり、あっという間に年の瀬を迎えたと感じています。

今年は、なでしこジャパンのワールドカップ優勝というみんなを元気にしてくれた心躍る出来事もありましたが、やはり3・11の東日本大震災が私自身にとって大きな出来事でした。店の食料品が少なくなり、計画停電のため懐中電灯生活を送ったりと今までにない体験をしたことで、当たり前に思っていたことが多く、感謝の気持ちをもつことができました。

4月に現職に着任し、運営協議会やリーブラの事業をとおり、さらにいろいろな学びの場を得たことをとてもありがたく思っています。リーブラで活動されている皆様の熱心に取り組む姿勢や熱い思いに触れ、私自身もエネルギーをいただいています。そして、活動を広げ根付かせるための行政の責務の重さを実感しています。

港区男女平等参画条例の理念を踏まえた行動計画の着実な実行に努め、拠点施設のリーブラ事業などにおいて、委員の皆様との協働によって、さらなる活動のうねりや情報発信をしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

被災された方々の強い衝撃と深い悲しみを思うと、とても心が痛みます。来年は、明るい気持ちで過ごせる出来事が多い年となりますように願っております。

港区人権・男女平等参画係長
小谷野 理愛

平成23年度 第7回運営協議会

11月17日、運営協議会が開催されました。

【議題】

- (1) 報告事項
①10月の事業報告
②フェスティバル2012進捗状況
③フォーラム2012進捗状況
(2) 協議事項
①新リーブラに向けての検討
(3) その他

6. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り

12月になって一年を振り返ることの多い時期ですが、皆さんにとって今年はどうな一年でしたでしょうか。財団法人日本漢字能力検定協会による今年の漢字は「絆」が選ばれたそうです。東日本大震災などの災害により、家族や友人との絆、助け合う人同士の絆など、絆の大切さを多くの人が実感した年だったというのが主な理由とのこと。絆は結ばれる時もあれば、断たれてしまう時もあります。リーブラ相談室にも、人間関係や家族関係の問題を抱えている方が相談にいらっしゃいます。相談員は、専門の見地からその方と一緒に考え、サポートするよう心がけています。

<開室曜日・開室時間>

火曜日 16:00～20:00
水曜日 10:00～16:00
金曜日 10:00～16:00
金曜日 18:00～21:00

03-3456-5771 (専用電話)

※面談は事前にご予約ください。電話相談も可能です。ご相談もご予約も。上記の利用時間内に専用電話あてにお願いします。

7. 男女平等参画情報 ～世界98位の日本～

11月1日、世界経済フォーラム(WEF)は、政治、経済、健康、教育の4分野での性別格差を評価した国別ランキング(GGI-ジェンダー・ギャップ指数)を発表しました。日本は135カ国中98位で、世界の中で、かなり遅れをとっている例年の状況が好転するどころか、前年から4位後退しているという悪化傾向にあります。報告書の中では、日本は、女性の約半数が高等教育を受けているものの、指導的立場にいる女性は約9%しかおらず、女性の能力が生かされていないことが指摘されています。1位はアイスランドで、2位以下はノルウェー、フィンランド、スウェーデンの順となり、上位は北欧勢が独占しました。しかし、男女平等の実現が、日本ではなぜこれほど困難なのでしょう。

11月4日には、国連の女子差別撤廃委員会から受けた2年前の差別是正の勧告に対して、日本政府が提出したレポート(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/josi/comento06.html>)への同委員会の見解(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/josi/kenkai06.html>)が発表されました。日本政府が提出したレポートには「最終見解を真摯に受け止め」「関係府省庁が一丸となってフォローアップに努める」などの文言があるものの、性差別是正の取り組みの本気度が残念な感じがわかれませんか。民法改正や第三次男女共同参画基本計画の数値目標を努力目標で終わらせないためには、周知などの情報共有だけでなく、政府自ら、ポジティブ・アクション、クォータ制の導入など早急にふみ切る必要があるのではないのでしょうか。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 * 祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日:2011年12月20日